

▼ 下記個人情報の取り扱いに同意のもと、申込欄に名刺を貼付していただくか、必要事項を記入し、FAXでお申込ください。

申込日

年

月

日

お申込み方法

- ・申込欄にお名刺を添付していただくか、必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。
- ・複数名でお申込みの場合、申込書をコピーの上、お一人様ずつお申込みください。
- ・お申込みされた方には、後日受講証を送付いたします。当日は受講証とお名刺をご提示の上、ご入場ください。
- ・定員になり次第、お申込みを終了いたします。予めご了承ください。

お支払い

ご登録後、順次、請求書と受講証をお送りいたします。参加料のお支払いは、請求書到着後、銀行振込で指定の事務局専用口座宛にご入金願います。

キャンセルについて

キャンセル期日は開催7日前までとなります。キャンセル希望の場合は、期日迄にEメールまたはFAXにてお知らせください。お電話でのキャンセルはお受けできません。受信後、弊社からキャンセル受領の確認をEメールまたはFAXにて返信します。以上をもって、キャンセル手続きの完了となります。開催日6日前からのキャンセルはお受けできませんので、代理の方の出席にてご対応ください。

参加料（お一人様／税込）

¥28,000

氏名		フリガナ（※必ずご記入ください）	
名刺貼付枠			
会社名		業種	
部署		役職	
住所 〒 -----			
TEL		FAX	
E-mail			
※お申込みの登録確認、開催のご案内を差し上げますので、出来る限りご記入ください。			
記入者氏名 （ご参加者と同じ場合は不要）		支払い担当者	

お申込みFAX番号

03-3518-6534

右記ウェブサイトからお申込みいただけます http://www.b-forum.net/bf0216/

お問い合わせ 株式会社ビジネス・フォーラム事務局 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル9F TEL:03-3518-6531 受付時間 9:30～18:00（土・日・祝日を除きます）

個人情報の取り扱いについて

- *本申込書でご提供いただく個人情報は、イベント参加申し込みを適切に受け付けて管理するため、及び株式会社ビジネス・フォーラム事務局（以下弊社）が提供するサービスに関する情報を電子メール等でご提供するために利用します。
- *個人情報の第三者提供について：当個人情報は、以下の通り第三者に提供いたします。
 - 【第三者に提供する目的】・本イベントを適切に運営するため
 - ・本イベントの協力企業（主催・共催、後援、協賛など）からの製品・サービスのご紹介、展示会・セミナー等のご案内などに利用するため
- 【提供する個人情報の項目】 御社名、部署名、住所、TEL、FAX、お名前、メールアドレス、他本申込書でご提供いただいた項目
- 【提供の手段又は方法】 直接書面、または電子データにて提供いたします
- 【当該情報の提供を受ける者又は提供を受ける者の組織の種類、及び属性】 当該情報の提供を受ける者は、本イベントの協力企業（主催・共催、後援、協賛など）
- 【個人情報の取扱いに関する契約がある場合はその旨】 弊社と本イベントの協力企業（主催・共催、後援、協賛など）との間に個人情報の取扱いに関する契約はございません
- *当個人情報の取扱いを委託することがあります。委託にあたっては、委託先における個人情報の安全管理が図られるよう、委託先に対する必要かつ適切な監督を行います。
- *当個人情報の利用目的の通知、開示、内容の訂正・追加または削除、利用の停止・消去および第三者への提供の停止（「開示等」といいます。）を受け付けております。開示等の求めは、以下の「個人情報苦情及び相談窓口」で受け付けます。
- *任意項目の情報のご提供がない場合、最速なご回答ができない場合があります。
- <個人情報苦情及び相談窓口> 株式会社ビジネス・フォーラム事務局 個人情報保護管理者 取締役 松田 勲 TEL:03-3518-6531（受付時間 9:30～18:00 ※土日祝日を除く）

生産性向上カンファレンス 2018

組織の生産性を高め、
成果の最大化を実現する6つのヒント
～世界で勝ち抜く本当の働き方改革～

開催日

2018年2月16日(金) 9:30～17:00（受付 9:00～）

会場

赤坂インターシティ コンファレンス 4F「the AIR」
〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR
[アクセス] 東京メトロ 銀座線・南北線「溜池山王駅」／千代田線・丸ノ内線「国会議事堂前駅」直結

参加規模

150名（事前登録制）

対象業種

全業種

参加対象

経営者、役員、経営企画、人事部門、業務部門他、各事業部門の管理職の方々

開催趣旨

経営学の巨人、ピーター・ドラッカーは、「今日のあらゆる先進国において、最大の“経済的な”課題は、知識労働とサービス労働の生産性の上昇で、これを先に実現した国こそ、21世紀において優位に立つ」と述べた。そして、「生産性の向上は、より賢く働くことによるのみ実現できる。より激しくより長時間働くことなしに、生産的に働けるようにならなければならない」と著した。90年代初頭の論文である。生産性の向上とは、まさにマネジメントのイノベーションに他ならない。

日本のホワイトカラーやサービス産業における生産性への課題は、長らく指摘され続けてきた。その重要性や革新性に気がきつつも、ビジネスの前線では往々にして質よりも量が優先され、また日本人が持つ気質（勤勉さ、職人気質、チームワーク重視、等々）なども変革を妨げ、その組織が本来出せるであろうスピードやアウトプットを歪めてしまっている。ともすれば、生産性の改革はボトムアップの施策と考えられ現場任せになりがちだが、生産性は企業力そのものであり、マネジメント層や経営トップが本気で取り組まない限り、生産性で勝負できる組織に変革することは不可能であろう。世界規模での競争は待ったなしである。マネジメントやマネージャー層が、日本人が持つ「当たり前」から抜け出し、モノやサービスの品質ではなく生産性という観点から世界で戦える組織への変革が、今求められている。

当カンファレンスは、「組織の生産性を高め、成果の最大化を実現する」をテーマに、生産性向上の改革に取り組む先進企業のチャレンジから、その施策やヒントを検証していきます。サービスの効率化を図る多能工化、成長に向けた真の働き方改革、組織力向上へもっとも重要なモチベーションややる気への施策、そして管理職によるチームの生産性向上など、様々な側面から世界で戦う組織へのキーフaktorを考察していきます。

主催：株式会社ビジネス・フォーラム事務局
特別協賛：株式会社セールスフォース・ドットコム
協賛：モバイルアイアン・ジャパン

発送元／お問合せ先：株式会社ビジネス・フォーラム事務局
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル9F
TEL: 03-3518-6531（受付時間 9:30～18:00 ※土・日・祝日を除きます） FAX: 03-3518-6534



9:00- 受 付

9:30-10:40 特別講演 【生産性向上と組織力、リーダーシップ】

イキイキと働き、高い付加価値を実現する組織作り ～改革の肝と経営リーダーの役割

- ルネサンスにみる強い組織力づくり
- 働きがいと生産性向上の両立とは
- 世界も視野に入れた仕事術 ～組織として、個として、そして経営リーダーとして



株式会社ルネサンス 代表取締役会長 斎藤 敏一 氏

講演内容の ポイント

「生きがい創造企業」を企業理念に掲げ、総合スポーツクラブを中心に事業展開を進めるルネサンス。労働生産性の低さが指摘されるサービス産業において、従業員と共に高い付加価値を実現し、業界トップクラスの利益率を誇る。ホスピタリティが求められるサービス業において、効率性の追求はともすればサービスそのものの質の低下が懸念されるが、同社は、労働生産性（付加価値÷従業員数/労働時間）の向上を、分母の“削減”の視点ではなく、分子を高めることでその実現を試みている。また、CIS（顧客感動満足）とEIS（従業員感動満足）という独自の指標を持ち、その改善が業績向上につながるという考えのもと、従業員の働きがいにも注力し、そのマネジメントを進めている。働きがいと稼ぐ力を両立させるその経営手法とは、どのようなものか。大手製造メーカーの社内ベンチャーとしてスポーツクラブを創業し、レジャー産業から超高齢社会を背景とした健康産業へと成長させた、現在会長を務める斎藤敏一氏をお迎えし、働きがいのある会社の実現やキーフクターをご紹介します。

10:40-11:30 基調講演 【キーノートスピーチ】

生産性の高い組織が未来を創る ～本当の“働き方改革”と企業の生き残り戦略^{（仮）}

株式会社リンクアンドモチベーション

モチベーションエンジニアリングカンパニー 執行役 カンパニー長 麻野 耕司 氏

株式会社セールスフォース・ドットコム

他事例企業1社 予定 詳細は ▶ <http://www.b-forum.net/bf0216/> よりご確認ください

11:30-12:00 協賛社講演 【ショートセッション】

モバイル活用で働きやすい環境をつくる ～生産性向上とセキュリティを同時に実現するには



モバイルアイアン・ジャパン シニアソリューションアーキテクト 宮田 智基 氏

12:00-13:00 昼 食 ※ お弁当の御用意がございます。

13:00-14:10 事例講演 【働き方改革事例】

“才能と情熱を解き放つ” の生産性の高い働き方とは ～ヤフーにみる本当の仕事改革～

- ヤフーにみる強い組織力づくり
- 成果を生み出す、本当の働き方改革とは
- “才能と情熱を解き放つ”人財開発企業を目指して～課題と展望



ヤフー株式会社 コーポレートPD本部 本部長 湯川 高康 氏

講演内容の ポイント

情報技術で人々の生活と社会をアップデートする「UPDATE JAPAN」をビジョンに掲げ、広告、電子商取引（EC）、決済金融事業を展開しているヤフー。自らも、時代の変化に合った働き方や労働生産性の向上を実現するため、従来の仕組みを一度壊し、「働き方のUPDATE」を目指し、大きな変革を進めている。モノではなく、100を超えるサービスを展開し、6,000人以上の社員が働くヤフーにおいて、サービス産業やホワイトカラーの生産性向上への取り組みはどのように進められているのか。“社員の才能と情熱を解き放つ”その改革の成果や課題はどのようなものか。働き方改革の施策や改革プロセス、また人事/評価制度に留まらず、1on1を始め、社員の力を真に引き出すための様々な仕組みなど、TRY & ERRORを繰り返しながら、生産性の高い働き方をUPDATEし続けている、その取り組みについてお話いただきます。

14:15-15:30 ショート講演 & パネルディスカッション 【モチベーションと成果の最大化】

やる気こそ生産性向上への最大の妙薬 ～従業員エンゲージメントと仕組みの考察

- モチベーションと生産性向上
- 働きがいのある組織＝成果の最大化を実現する仕組み、サポート
- これからの課題と展望

パネリスト 株式会社サイバーエージェント 取締役 人事統括 曾山 哲人 氏



企業ポイント 株式会社サイバーエージェント

「21世紀を代表する会社を創る」というビジョンを掲げ、インターネット領域で事業を展開するサイバーエージェント。大きな設備投資を必要としないインターネット産業では、優秀な人材こそが重要な経営資源であり、創業以来、人を活かすための独自の施策を進めている。人材の「採用・育成・活性化・適材適所」を重視し、組織に所属する人材の資質をきちんと把握、社員のモチベーションを高め、個の能力を最大限に活かす仕組みとはどのようなものか。人事統括として、様々な改革を長年にわたり進めてきた曾山氏。「個人が納得のいく働き方をすることが本当の生産性向上につながる」との考えの下、個人の「強みを活かす」マネジメント手法を提唱する曾山氏を迎え、これまでの取り組みから得られたヒトを活かすためのヒントや成果の最大化を実現するキーフクターなどについて議論を進めていきます。

パネリスト 株式会社ディスコ 経営支援室長 石井 秀明 氏



企業ポイント 株式会社ディスコ

「働きがいのある会社」ランキングで毎年上位に入る半導体製造装置メーカー。人が何によって働きがいを感じ、生産性を高め、組織としての最大の成果を出せるのかを常に探求し、様々な仕掛けや仕組みによって社員のモチベーション向上を図っている。2003年、独自の管理会計手法「Will会計」を導入、間接部門含めたすべての部門を対象に部門別での採算管理を開始。「改善すべき行動」に「痛み課金」、「賞賛すべき行動」に「Will報奨」を与え、部門の価値を見える化した。2011年にはWill会計を個人レベルに落とし込んだ「個人Will会計」を導入。あらゆる業務や社内サービスに社内通貨単位・Will（“意志”の意も含んでいる）で値付けがされ（業務価値の見える化）、その請求や支払いといったやりとりが日常的におこなわれている。導入当初は個人や組織間で戸惑いもあったが次第に“自分や会社が強くなるための取り組み”と理解され、労働生産性と雇用管理改善そして社員の働きがい・働きやすさ向上をリアルに実現する好循環を生んでいる。2017年3月の第1回「働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」では最優秀賞を受賞。これまでの道のりや成果、そして今後の課題などをショートセッションとディスカッションでご紹介します。

15:30-15:45 休 憩

15:45-17:00 ショート講演 & パネルディスカッション 【働き方改革と生産性向上】

世界で勝ち抜く本当の働き方改革 ～生産性向上へのチャレンジと改革の舞台裏

- 生産性向上と働き方改革（ワークスタイル変革）からの知見 ～推進の力ギ、障害、成果等
- 事業の成長に結びつく働き方改革とは？
- 生産性向上による組織力の強化 ～これからの課題と展望

パネリスト 味の素株式会社 グローバル人事部 労政グループ長 健康推進センター長 隈部 淳二 氏



企業ポイント 味の素株式会社

2008年に、労使プロジェクトとしてスタートした味の素の「働き方改革」。様々な成果を生むも、残業を前提とした働き方からの脱却には至らず、2016年度から経営主導での全社のルール、仕組み、そして従業員の意識の変革を目指し、ゼロベースでの「働き方改革」第二期を再スタート。時間の効率化と意欲を向上させ、仕事の質と量を高める「Work@A～味の素流働き方改革～」の取り組みを、マネジメント改革とワークスタイル改革の両輪で推進している。目指す姿は、“多様な人財が互いを活かし合い、活躍し、7時間労働で新たな価値を創造する会社”。経営の強いコミットメントを軸に進められる改革とはどのようなものか。様々な施策と組織・個人の意識改革のキーフクター、そして今後の課題なども含め、働き方改革を通じた、真の生産性向上と企業変革の姿をご紹介します。

パネリスト GEヘルスケア アジア・パシフィックリージョン 人事本部長 宇佐見 英司 氏



企業ポイント ゼネラル・エレクトリック（GE）

全世界30万人の社員が取り組むゼネラル・エレクトリック（GE）のワークスタイル変革、「ファストワークス」。ビジネスの展開スピードを上げ、シリコンバレーで成功するベンチャー企業のように機動的に、迅速に意思決定ができる働き方を目指し、大きな改革を進めている。デジタル・インダストリアル・カンパニーへと巨大企業を変革するため、日本でも多くの企業が参考にしたGEバリューや、社員をパフォーマンス（成果）とバリュー（価値観）で分類するナインブロックなども廃止、企業哲学や評価制度までを刷新している。新たな行動指針「GEビリーフス」、新人事制度「パフォーマンス・ディベロップメント（PD）」など、働き方改革と組織の変革を促す様々な施策のもと、社員の働き方はどう変わったのか。デジタル時代を勝ち抜くため、素早く働く「ファストワークス」を通じたワークスタイル変革の現状と課題を中心に、全世界で生産性の高い組織へとチャレンジを試みるGEの取り組みをご紹介します。

17:00 終 了